

平成26年2月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成26年2月12日(水) 14時00分～15時40分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、吉岡委員、宮原委員、横山委員、國弘委員、岩城委員(教育長)

4 欠席委員

佐々木委員

5 事務局

小川教育部長、中谷教育部次長、西村参事、楳本教育総務課長、田中教育施設管理課長、松田学校教育課長、上村社会教育課長、山根文化財保護課長、安光スカウトジャンボリー支援室長、小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

(議案)

○議案第1号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

(概要)

議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(平成26年度教育費予算)、付すべき意見なしで承認された。

1. 内容

- ・平成26年度当初予算のポイント(市全体と教育委員会関係分)
- ・まちづくりの概要(教育委員会関係分)

(主な意見や質疑)

質問： 小学校の「遠距離通学対策事業費」が増額しているのはなぜか。

回答： スクールバスの買い替えによるものである。

質問： 小中学校の「学習支援事業費」は、小学校では前年度に比べて増額となっているが、中学校では1,500万円の減額となっているのはなぜか。

回答： 県がすべて負担することになり、減額となったもので、補助教員の人数は変わっていない。

質問： 「若者学びの広場開催事業」は予算115万円で、各地域交流センターを中心に開催するとなると、どういう形のものを考えているか。

回答： 若者離れを防ぐための第一歩を踏み出すもので、各地域交流センターに5万円程度の予算をつけ、その中で社会教育活動を実施していく。

意見： 若者の婚活などの課題に対応していくための、若者向けの全市的な研修をされてみたらどうかと思う。

質問 :	大内氏遺跡の発掘調査は、池泉庭園のあたりであるか。
回答 :	大内氏遺跡自体は館と築山、凌雲寺になる。平成26年度は、築山、つまり、八坂神社あたりを中心に発掘調査に入ることになる。
質問 :	「移動図書館管理運営費」は拡充事業になっているが、予算が半分減額となっているのはなぜか。
回答 :	拡充事業となっているのはサービスステーション数を33箇所から36箇所に増やしたからで、予算の減額は運転業務委託がなくなったからである。

○議案第2号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

(概要)	
議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(平成25年度教育費補正予算)、付すべき意見なしで承認された。	
1. 内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度実施予定の耐震補強事業について、国の補正予算で補助金が措置される見込みとなったことから、前倒しで実施するための増額補正 ・入札及び事業費の確定により、執行残が見込まれるものを整理するための減額補正 	

(主な意見や質疑)

質問 :	学習支援補助教員の賃金が小・中学校とも減額となっているのは、予定していた人数よりも少なくてすんだからであるか。
回答 :	当初の見込みよりも、人をつけたくてもつけられなかった状況もあって、日数や人数が少なくなり、減額となった。

○議案第3号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

(概要)	
議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(山口市立学校設置条例の一部を改正する条例)、付すべき意見なしで承認された。	
1. 内容	
住居表示の実施に伴う学校等位置表記の改正	

(主な意見や質疑)

なし

○議案第4号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」

(概要)

議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について(山口市社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例)、付すべき意見なしで承認された。

1. 内容

社会教育法の改正に伴う社会教育委員委嘱基準の改正

(主な意見や質疑)

なし

(協議事項)

○協議第1号「学校給食における異物混入対応マニュアルの作成について」

(概要)

学校給食における異物混入対応マニュアルの作成について、事務局から提案があり、協議した。

1. 提案理由

異物混入による事故の防止、事故が起こった場合の被害を最小限に留めることを目的とした「学校給食における異物混入対応マニュアル」を作成するにあたり、より安心安全な給食を児童生徒に提供できるような対応等について協議するため。

(主な意見や質疑)

質問 : 報告などの様式は、現在の安全衛生マニュアルの中にあるものを特化したものか。

回答 : 現在の安全衛生マニュアルの中にある様式は、異物混入とアレルギーは同じ様式を使っており、非常に書きづらく、両方にあてはまらない部分も多かったため、異物混入に特化して、書きやすいように作り直したものである。

意見 : 保護者に対する様式は、異物混入が発生した際に、学校もより一層対応しやすくなると思う。

質問 : 給食調理員の研修会はあるか。

回答 : 夏休みに、3、4日間の集中的な研修を行っている。

意見 : 毎日の朝礼を活用して、意識の向上に力を入れていただきたい。

○協議第2号「山口市教育振興基本計画の策定について」

(概要)

山口市教育振興基本計画の策定について、事務局から提案があり、協議した。

1. 提案理由

教育基本法に基づく本市の教育行政の中心となる「山口市教育振興基本計画」を策定するにあたり、本市の実情に応じた計画となるよう協議するため。

(主な意見や質疑)

意見 :	教育目標の「やまぐちで育てる」から始まって、郷土山口市が前面に出てきており、とてもすばらしいと思う。この教育目標をもとに、地域のことを考えて作られ、また、県の関係も押さえられており、感心した。
意見 :	教育目標については、コンパクトにまとめてあり、非常にいいと思うが、もう少し市民にわかりやすい形にまとめられると、市民に浸透しやすいのではないかと思う。
意見 :	山口市の教育にこだわり、地域や保護者を意識され、策定委員会で議論されたもので、山口市らしい教育の視点が力強く打ち出されている内容だと思う。
意見 :	グローバル化については、英語教育に少し偏りすぎていくのではないかと心配である。グローバルな社会の中では、宗教や文化、考え方の違ういろいろな人たちがいるが、その人たちを尊重しながら、対等にやっていくためには、人権教育も必要になると思う。
意見 :	考え方の違う相手を尊重し、お互いの意見を同じ重みで受け止めて話し合うことを、学校や地域、家庭の中で大事にすることが必要であり、これがいじめ防止や解決にもつながっていくと思う。
意見 :	この計画ができあがったら、ぜひ市民にもわかりやすい概要版を作っていただきたい。
質問 :	市民にもわかりやすいように、「AFPY」など教育関係の特異的な用語には解説をつけるのか。
回答 :	「AFPY」以外にも、「スクールカウンセラー」や「スクールソーシャルワーカー」、「あすなる教室」などの用語にも説明をつけるようにしている。